

2015年4月13日

RSSC ウィメンズクラブ

活動月報

活動日時	2015年4月13日 午前10時30分～午後3時
場所	文京区本郷界限——樋口一葉の足跡をめぐる
出席	会員8名 + 7期生2名（見学） 計 10名
活動内容	<p>●一葉散歩</p> <p>午前10時30分 本郷3丁目駅にて集合。あいにくの雨模様であったが、樋口一葉の少女時代から終焉までの一葉ゆかりの地、本郷界限を北澤さんの案内で歩く。コースは本郷三丁目駅→かねやす→本郷薬師→一葉桜木の宿跡→法真寺→金魚坂—炭団坂→菊坂の家跡→鎧坂→一葉が通った旧伊勢屋質店→白山通り→一葉終焉の家跡</p>  <p>まず、一葉5歳から9歳までの5年間を家族全員揃って恵まれて暮らしていた家の跡を訪れた。一葉が2階の窓から境内の桜を眺めたという法真寺の隣の地で、後年、日記に『桜木の宿』として回想されている。『ゆく雲』の舞台となった。</p> <p>雑記「詞がき詩」には次のように書かれている。</p> <p>「かりに桜木の宿と言えはばや、忘れがたき昔の家にはいと大いなる木ありき」</p>  <p>一葉が菊坂に住んできたときから生活が苦しくなるたびに通った質店。菊坂の家時代は勿論だが、下谷区竜泉町に移ってからもしばしば通ったと言う。一葉が亡くなった時には伊勢屋質店から香典が届けられたことが香典帳に記されている。</p> <p>昭和57年に廃業。取り壊し寸前であったが、平成27年3月市民の保存運動の結果、跡見学園女子大学の所有が決まった。</p>

一葉 終焉の地（丸山福山町の家跡） 記念碑の文字は平塚らいてうの筆である。



明治27年（1894）にこの地に移った。うなぎ屋の離れで6畳2間、4畳半の3間。庭には西片の崖からの湧き水で造られた池があった。後に崖崩れが起こり、土地が整備されたため今はその頃の面影はない。

隣の居酒屋の女性をモデルに「にぎりえ」が生まれた。「大つごもり」「たけくらべ」「ゆく雲」「十三夜」など数々の代表作を

この家で次々と発表し、肺結核のために亡くなった「奇跡の14か月」と呼ばれる時代をここで過ごした。

●一葉散歩の後の意見交換。

深野さんから「樋口一葉は日清戦争をどう受けとめたか」というお話があったが、一葉自身の生き方・考え方や作品に描かれた女性たちについて議論する時間が無くなってしまったので、次回の研究会に持ち越しとなった。



●次回研究会は 5月11日 11時半から14時 池袋リビエラにて

各自、一葉の生き方或は作品の中に描かれた女性の生き方についての意見や感想を発表し、一葉への理解を深めることとする。

●2015年度の年間活動予定を決めた。後日会員に送付・同窓会HPにも掲載予定。

（夏目由美子 記）